

- 2050年代に東京が目指す姿として、新たな「ビジョン」を描き、バックキャストの視点で「ビジョン」を実現するための2035年に向けた「戦略」を策定
- 本戦略の中で、政策の実効性を高めるための政策目標を設定

2050東京戦略

～東京 もっとよくなる～

新たな羅針盤

気候危機の深刻化や少子高齢化、生成AIをはじめとするテクノロジーの爆発的進化など、社会は予想し得ないスピードで変化を続けています。こうした時代だからこそ、加速度的な変化をチャンスに変えて、さらなる飛躍に向けた航路を描いていく必要があります。

「2050東京戦略」は、2050年代に目指す東京の姿「ビジョン」を実現するため、2035年に向けて取り組む政策を取りまとめた、都政運営の新たな羅針盤です。

2050年代のビジョン

すべての「人」が輝き、一人ひとりが幸せを実感できる

「成長」と「成熟」が両立した「世界で一番の都市・東京」

もっと!!

ダイバーシティ

誰もが将来の夢や希望を叶え
もっと一人ひとりが輝く東京へ

もっと!!

スマートシティ

東京のポテンシャルを磨き上げ
もっと活力溢れる東京へ

もっと!!

セーフシティ

強靱で持続可能な都市を創造し
もっと安全・安心な東京へ

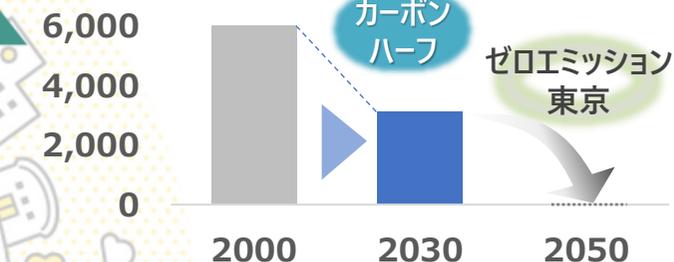
「2050年ゼロエミッション東京」

温室効果ガス排出量削減 2035年新目標

温室効果ガス排出量 エネルギー消費量
60%以上削減※ (2000年比) **50%以上削減** (2000年比)
 再エネ電力利用割合
60%以上

※IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）が求める水準（産業革命前と比べ地球の平均気温の上昇を1.5度に抑える水準）に整合

都内温室効果ガス排出量
(万t-CO₂)



2035年

2030年

強化

宣言

2030年カーボンハーフ

温室効果ガス排出量 **50%削減**※
 エネルギー消費量 **50%削減**※
 再エネ電力利用割合 **50%程度**

※2000年比

2019～2021年度

「2050年ゼロエミッション東京」を宣言

- 「ゼロエミッション東京戦略2020 Update&Report」策定
- 世界経済フォーラム「ダボス・アジェンダ」にて、「2030年カーボンハーフ」を表明
- 「東京水素ビジョン」「東京都気候変動適応計画」策定

2022～2024年度

目標実現に向けた取組を強化

- HTT（電力をへらす・つくる・ためる）の取組
- 太陽光パネル設置などを義務付ける制度※を創設

※2025年4月から制度開始